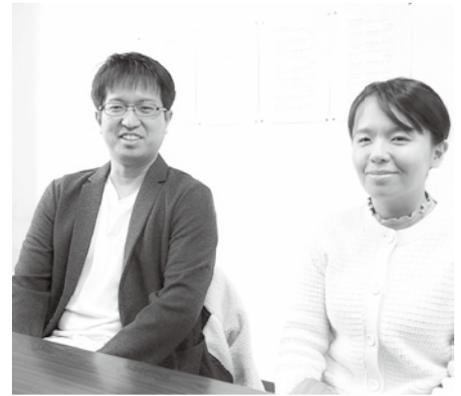


うらうすぶんの 1人／浦白の夢

私たちがこの連載で浦白の夢を一人一人の思いを紹介していきます。



栗津 達彦 さん

妻実家の農業承継 失敗経験しながら 地域に必要とされる仕事を

背中押されて農業へ踏み出す

札幌出身で約10年札幌の食品卸会社で働いていましたが、妻の実家が浦白の農家だったので、一緒に帰ってきて家業の後継者になりました。就農1年目を終えたところです。結婚する頃に転職についてうつすらと考えていたのですが、ある日妻の実家で「農家を継がないか？」と言われまして。妻も何も聞いてなかったようで、びっくりしていました。大学では農業経済学を専攻していたので、農家の友人も多かったんです。面白そうな世界だとは思っていました。

よく言えば背中を押され、正直に言えば流されるままに。農業の道へ踏み出しました。やっとの思いで1年目が終わりました。思っていた以上に、本当に、大変でした。

失敗を周囲が笑い飛ばしてくれた

1年目はついていくのに精一杯で、心も体も疲れ果てました(笑)。こんな大変なことを農家の人は当たり前に行っていたのかと。重機や重い資材が多いので危険な事故も起こる可能性があるのだと、初めて自分で作った米を食べたときは美味しさをしみじみ噛みしめました。

義父に「ぬかるみが深いから入っちゃダメだよ」と助言をもらったのに、「いける」と過信して入ってしまったトラクターが動けなくなってしまうことも。下手したら機械を壊してしまったりかもしれない。義父や近所の人たちが助けてくれました。振り返ると失敗ばかり。落ち込んでいたら、皆さんは笑い飛ばしてくれました。

稲刈りの時も機械をつまらせましたし、あまたの失敗をしてきました。でも多くの人に見守ってもらいながら学ばせていただいています。

1年を振り返ってみると、会社員の時代と違う面白さにも気づきました。自分のやった仕事が如実に成果へと反映されることです。

浦白で農家、続けます。

夏に先輩農家さんの家で焼肉をしたときに浦白野菜が美味しすぎて、人生で初めて、肉よりも野菜の方をたくさん食べる焼肉になりました。初めて自分の米を食べたときにも感動しました。周囲の皆さんに助けてもらって必死にやってきた1年でしたが、農業って「人に感動を与えられる仕事」だと実感しました。

僕は今年も浦白で農業をやりま。もう家も建てているので、踏ん張らな(笑)。

先輩農家さんに、「自分のところだけで利益を独占するんじゃなくて、地域や町に利益を還元できるような農家になってほしい」と言われたことがすごく心に残っています。地域は草刈りや用水路の掃除など一人ひとり役割がある世界です。自分の地域を守るためには必要なことです。ね。町の子どもたちは当たり前のように挨拶をしてくれます。都市部ではない光景です。

「浦白の人と人がきちんとつながっている関係がいいな」と思っています。一人ひとりが誰かの大切な人なんだと感じることが出来る場所です。僕もまずは一人前になれるように頑張ろうと思います。

*写真は妻・知沙さんと撮影

栗津 達彦 (あわづ たつひこ) さん ● 1992年生まれ。札幌市出身。大学卒業後に食品卸会社に勤め、2024年3月に農業承継者として妻・知沙さんの実家のある浦白町へ。趣味はゲーム(ガンダム対戦)、プロ野球・プロレス観戦。浦白で飼い始めた猫のろくちゃん(本名 六角レンチ)を夫婦でかわいがるのが癒しの時間。

町民まちづくり活動応援事業募集

下記のとおり町民まちづくり活動応援事業を実施する団体を募集します。

1. 補助金の額 1事業につき限度額30万円

2. 補助率 総事業費のうち補助対象経費の10分の8

3. 提出書類

- (1) 事業計画書(様式第1号)
- (2) 収支予算書(様式第2号)
- (3) 団体の規約等の写し(任意様式)
- (4) 会員名簿(任意様式)

※(1)と(2)の様式は町公式ホームページからダウンロードできます。上記QRコードよりアクセスしてダウンロードして下さい。



(町ホームページ)

4. 提出先及び事前相談窓口 総務課企画係 電話：0125-68-2111

5. 提出期限 令和7年5月30日(金)必着

6. 補助の対象となる団体

3名以上で構成され、団体の運営に関する規則等を有していることが必要です。
※営利団体でも、営利を目的とした事業でなければ対象となります。

7. 審査方法 新規事業の場合は申請団体に福祉の町づくり委員会に出席いただき、事業の特徴や効果等を説明いただきます。

8. 詳細 詳細は町公式ホームページに掲載いたします。

9. 令和6年度の事業実績

1. ○○さんと呼ばうの会(代表 折坂 美鈴 氏)

事業名 ピロロツーリズムの描く地域の在り方～違いを受け入れること～(6月18日実施)

概要 十勝管内広尾町にて活動する「ピロロ企画」のメンバー3名を招いて、地域活性化に関するトークセッション方式での講演会を開催。



2. 浦臼大収穫ハロウィンパーティ実行委員会(代表 米田 友紀 氏)

事業名 浦臼大収穫ハロウィンパーティ(10月26日開催)

概要 地域活性化を目的に町民を対象としたハロウィンパーティを開催。パーティでは町で収穫した農産物を使った料理を提供した。



令和7年度 本山町友好親善交流事業

友好交流町である高知県本山町に行ってみませんか？

高知県本山町との親善交流をより深めるため、次の要件を満たす1組の親善訪問団体に助成を行います。

助成の対象者 (次のいずれも満たすグループが対象となります。)	町内にお住まいまたは就業している高校生以上の者で構成された3人以上のグループ 事業趣旨を理解し、本山町との交流を積極的に図る意思のあるグループ
助成の対象となる経費	①本山町と浦臼町間で直接かかる交通運賃 ②最大3泊分の宿泊費 ③本山町での交流に必要な資材運搬費
助成金の限度額	350,000円(今年度より5万円引き上げています)
募集期間	令和7年4月1日(火)～5月30日(金) (6月以降に実施する本山町への訪問が対象です。) (前年度までと同様、産業文化祭に合わせての訪問も可能です) 今年の産業文化祭開催予定日……11月15日(土)
申請する際は	役場2階 総務課企画係へお越し下さい。
事業詳細	町公式ホームページに掲載しております。 QRコードよりアクセスしてご確認ください。  (町ホームページ)

お問い合わせ 総務課企画係 電話：0125-68-2111

紙おむつ等購入費助成(4月～9月分)の申請を受け付けています

2歳6ヵ月未満のお子さんのいるご家庭に、1ヵ月につき『紙おむつ4袋+燃やせるゴミのゴミ袋(40ℓ)1梱包』と交換できる引換券を交付しています。

対象となる方へ申請書を郵送しておりますので、希望される方は保健センターに4月中に申請書を提出してください。

- ・2歳6ヵ月になる月分までが交付対象となります。
- ・おむつが必要ない場合はご連絡ください。
- ・5月～9月の間に申請をすることはできません。
- ・お子さんが生まれた時は、随時申請を受け付けています。
- ・町税や使用料等を滞納している場合は、助成の対象外となります。
- ・引換券は申請時に発行しておりません。滞納状況を確認し、おむつの用意ができ次第郵送いたします。



その他詳しい事やご不明な点につきましては、下記までお問い合わせください。

申請・お問い合わせ 福祉課子育て支援係(保健センター) 電話：0125-69-2100